

農業委員会先進地視察研修を終えて

11月24日から25日の2日間、岐阜県におきまして農業委員会先進地視察研修を実施しました。
白川町農業委員会
 白川町農業委員会では、地区ごとに農地の現地調査・集計を行い、B分類（森林状態等であり再生不可能）と判断した農地所有者に非農地通知を送付し農地台帳から除外する補正をされました。これにより、「今後守るべき農地」を明確にし、集落営農法人等への集積に結び付けられたとのこと。竜王町においてもB分類に該当する農地が存在する中、白川町農業委員会の取組を参考にさせていただきたいと考えます。



養老町農業委員会

養老町では28地区のうち26地区で人・農地プランが策定され、また、いち早く農地中間管理事業や農地利用集積円滑化事業を活用されるなど、担い手への集積を積極的に推進しておられ、平成29年度の担い手集積率は75%を超える先進地になられたとのこと。
 法改正により農業委員会が人・農地プランの実質化に向けた話し合いへ参画することが明記されましたが、グループ討議では農業委員さんの生の声を聞き、また、人・農地プラン策定の際に使用された地図を頂戴し、今後に向け大変有意義な研修となりました。



竜王町賃借料情報

平成31年1月から令和元年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりとなっております。

令和2年1月10日

竜王町農業委員会

	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
田（平坦地区） ほ場整備済田	7,600円	15,000円	1,000円	287筆	
畑（全町一円）	7,200円	10,000円	5,000円	9筆	
【参考】使用貸借（無償で使用する契約）				102筆	

◆注意事項

- ※1 農地法第52条の規定に基づき、農地の賃貸借の際の目安としていただくため、情報提供するものです。
- ※2 平成31年1月から令和元年12月に実際に締結（公告）された農地の賃貸借契約の賃借料をもとに作成したものです。
- ※3 実際の賃借料は、耕作条件等を勘案し、当事者間で話し合いの上決定してください。
- ※4 平均額の算定については、データの平均値±（平均値×70%）を超えるものを除いたデータを対象としています。
- ※5 この情報の作成にあたり、賃借料が物納支給のものは対象外としています。
- ※6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

編集後記

昨年を振り返りますと、令和の幕開けと同時に元年産の水稲植え付けが始まり期待に胸膨らませ農作業がスタートしました。近年の異常気象の中でも順調な生育が見込まれていましたが、東日本では台風15・19号とその後の大雨による農林水産被害額が3千億を超える甚大な被害が発生しました。被災されました皆様方には心からお見舞い申し上げます。幸いながら当町に於いてはその影響は免れたものの、酷暑や台風の影響、特に10月1日に発生しました町北部における突風と雹により農業施設や米・大豆に被害が発生し、品質や収量に大きく影響しました。
 さて、農業を取り巻く状況は従事者・収入・農地等、依然として経営の課題が山積しております。改正農業委員会法により平成29年7月に就任させて頂いた我々今期農業委員・農地利用最適化推進委員も残すところ半年の任期となり、これまで「農地利用の最適化推進」を最重要責務として多くの研修や会議を重ね、その活動に取り組みで参りました。本誌101号発行を機に本年7月の改選に向け委員の任期を勤め上げ、次期の農業委員会に繋げていく所存ですので今後とも皆様方のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。
 農業委員 竹山 勉

編集委員

- 松田 英夫
- 若井 明雄
- 山本 孝雄
- 富田 久田
- 山中 順子
- 竹山 勉
- 松瀬 伊
- 伊 勉

竜王町 農業委員会だより

編集・発行
 竜王町農業委員会
 TEL：58-3712

担い手

農人と結ぶ

「やまねっ娘」のブランド化

山之上生産組合 サツマイモ部会

山之上は、昔から大な丘陵地で、土質が礫混じりの粘土で固く雨が降れば長靴にべとつく野菜作りには適さない土質でありました。また、十分な用水が確保できないため、農家は果樹、さつまいも（紅あずま）等を作り、収穫しては近隣の近江八幡市・八日市市・甲賀郡にリヤカーを引いてひげ二杯に積み込み行商に行っておりました。お客さんからは「やまねのさつまいもは、おいしい」と好評でありました。

平成5年度に60haの畑地盤整備により用水整備もされ、山之上生産組合が法人化され、昔からの農家5軒が部会を構成し、体験型芋ほりとアグリパーク竜王で直売を始めました。現在は農家7戸、施設1件の農家で構成し、面積155a、1万9千本の植付（金時・あんのうも・紅はるか）をしており、体験型もほり6割・直売4割であります。直売が増える傾向から、平成29年度から部会内で、県産普及課の指導を受け、みらいパーク・JAと先

進地研修と協議を重ね、環境こだわり認証とブランド化に取り組まれました。平成30年度になり、まるごと竜王産スキヤキプロジェクトの流れもあり、竜王町・山之上・アグリパーク竜王をPRするためにさつまいもの商標登録にかかるブランド名称を、地域で親しまれている山之上の通称「やまね」から「やまねっ娘」と命名、昨年5月に登録しました。形はよくないが味には自信があり、今後、体験型いもほり・道の駅での販売・加工商品の開発等にも取り組むたいと考えています。しかし、部会員の高齢化が進んでおり、仲間づくりの充実と・経営安定化が課題となっています。山之上の地でとれたさつまいもを一人でも多くの消費者の皆さんにおいしく食べてもらいために品質向上に努めたいと考えております。



きらりファーマー

ミニトマト栽培を通じて

村田 義治

「かな」、平和堂のインショップなどに出荷し、なんとお客様に認知していただけるミニトマトの栽培ができるようになりました。

おかげさまで売れ残る日も少なくなり、日によっては「もう少し出荷できないか」との電話もいただけるようになりました。まだまだトマト農家としては駆け出しです。これからもお客様の期待を裏切らない美味しくて真っ赤なミニトマトをお届けできるように心がけていきたいと思います。



現在、林で3棟のビニールハウスでミニトマトをメインで栽培を行っています。以前はIT関係の仕事をしておりシステムエンジニアとして全国を飛び回る仕事をしておりました。40歳頃から定年後は農業をと考えていましたが、50歳を超えた頃に、1年の内殆どが出張という生活に限界を感じ、「農業をはじめるとしたらこのタイミングだ」と思い早期退職する道を選びました。
 ミニトマトの栽培を始めて今年で4年目になりますが、トマト栽培で一番恐れる青枯れ病が栽培1年目で発生し、栽培システムの仕組み上ハウス3棟の養液循環のため伝染し日に日に枯れていき、気が付けば植えた2000本が全滅という状況になってしまいました。その時は、気持ち落ち込むと同時に、農業の大変さ・難しさを改めて思い知りました。しかし、せっかく始めたミニトマト栽培を簡単に諦めるわけにはいかず、土壌殺菌・接ぎ木苗の導入・養液循環の停止等いくつかの対策を行い栽培を再スタートさせました。翌年には無事に収穫を行い道の駅アグリパーク竜王・道の駅がみの里やJAの「きて

令和元年度 農業委員会 活動報告

●たんぼのご推進事業

毎年、両小学校で食育活動の一環として「農業体験」が行われています。

今年度も5月には田植え、9月には稲刈りが行われ、農業委員会もたんぼのご推進会議の一員として参加し、児童との交流を図りました。

また、秋には児童の皆さんが収穫したお米の試食や農業にまつわる発表などを行う感謝祭が開催され、招待いただきました。



●農地パトロール(利用状況調査)の実施

農業委員会では、優良農地の確保および遊休農地の把握と解消等、農地の有効利用促進に向けて、毎年町内の農地を対象に利用状況（耕作中・保安全管理・遊休化等）の調査を行っております。

今年度につきましても8月から9月にかけて農業委員・農地利用最適化推進委員が連携し農地パトロールを実施しました。

今後も引き続き農地の有効利用の促進に向けて取り組んでまいります。



●まるごと竜王産スキヤキプロジェクトin産業フェア

10月14日、ドラゴンハットで開催された「まるごと竜王産スキヤキプロジェクトin産業フェア」に農業委員会では米の消費拡大をねらいとした取り組みとして、つちやま福祉作業所（甲賀市）が製作販売する米袋をリメイクした米袋バッグの販売と、自宅でも作れるバッグの製作体験を実施しました。コーナーは活気にあふれ、用意した米袋バッグは大変好評をいただき完売できましたし、また、たくさんの方が製作体験に参加いただきました。

農家の方だけではなく非農家の方にも製作体験をしていただき、農業を身近に感じてもらえる良い機会となりました。多くの参加者とのふれあいが広く農業への関心を持ってもらえ、米のPRにもなった有意義な出展となりました。



●町に対し意見書を提出しました

12月10日、竜王町に対し「竜王町農業施策等に関する意見書」を提出いたしました。

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化について
 - (1) 認定農業者等担い手の確保・育成
 - (2) 担い手への支援
 - (3) 人・農地プラン
- 2 遊休農地の解消と有害鳥獣対策について
 - (1) 遊休農地の解消
 - (2) 有害鳥獣対策
- 3 新規参入の促進について
- 4 農業生産基盤の整備と保全について
- 5 自然災害被害への支援について
- 6 女性農業委員の登用拡大について
- 7 その他



●JA竜王支店年末ふれあい大感謝祭

12月14日、JAグリーン近江竜王支店で開催された「年末ふれあい大感謝祭」に米の消費拡大運動の一環として参画させていただきました。

これまでは米粉を利用したお好み焼きやドーナツ等を販売しておりましたが、4回目となる今回はよりお米をご賞味いただこうと「松茸ご飯」を販売いたしました。天候にも恵まれより多くのお客様に好評をいただき完売することができました。

